

主な出来事

【内政】

●9月5日、アンゴラ政府と米国アフリカビジネス協会(CCA)は、第17回米・アフリカ・ビジネスサミットのルアンダ開催を正式に決定する覚書に署名した。

●9月19日、フランシスコ・フルタード大統領府武官長は、同日から2024年国勢調査が開始された旨を発表した。

【外交】

●9月4-5日、テテ・アントニオ外務大臣は中国北京市で開催された中国・アフリカ協力フォーラム(FOCAC)にロウレンソ大統領の代理として急遽参加。同大臣は、5日のラウンドテーブルにて習近平国家主席が発表した「10の方策」につき、歓迎の意を示した。

●9月24日、ロウレンソ大統領は第79回国連総会にて一般討論演説を実施。世界的な問題の解決には、国連総会の決定及び安保理決議が重要である旨強調するとともに、平和と安全保障及び国際金融機関の意思決定プロセスにおけるアフリカの発言力向上の必要性を訴えた。

【日アンゴラ関係】

●9月25日、鈴木徹／在アンゴラ日本国大使及びネルソン・ベリッシモ／マインズ・アドバイザー・グループ(MAG)アンゴラ事務所代表は、令和6年度対アンゴラ草の根・人間の安全保障無償資金協力案件「モシコ州モシコ市4地区地雷除去計画」に署名した。

【経済】

●9月5日、リカルド・デ・アブレウ運輸大臣は、カビンダ州における鉄道事業(CRBC社)、ルアンダ州における路面電車の包括的システム開発(CCC社)及び運輸省新庁及び鉄道路線の安全性向上に向けたデジタル技術の導入(ファーウェイ)にかかる覚書を締結。

●国家統計局(INE)によると、8月のインフレ率は前月比1.63%、前年同月比40.56%の上昇を記録。

●9月25日、アンゴラ、ザンビア両政府及びアフリカ金融公社は、ロビト港・ザンビア間の接続を目的としたベンゲラ鉄道の拡張にかかるコンセッション契約に署名した。

* 本月報は当地主要紙 Jornal de Angola 紙を中心に、月末現在の報道などの公開情報を大使館で取りまとめたものです。

内政

1. アンゴラにおける第17回米・アフリカ・ビジネスサミットのアンゴラ開催の決定

9月5日、アンゴラ政府と米国アフリカビジネス協議会(CCA)は、2025年6月に第17回米・アフリカ・ビジネスサミットをルアンダで開催することを正

式に決定する覚書に署名。同サミットのルアンダ開催は、本年5月の第16回サミットにて行われたロウレンソ大統領とフロリゼリ・リズセール CCA会長の会談を受けたもの。

2. 新最低賃金の施行

9月16日から、新最低賃金にかかる7月17日付大統領令が発効し、最低賃金は月額7万クワンザとなった。同大統領令によれば、大統領令施行後12ヶ月かけて月額最低賃金は10万クワンザに引き上げられるとのこと。

3. 2024年国勢調査の開始

9月19日、フランシスコ・フルタード大統領府武官長は、同日から国勢調査が開始された旨発表。同調査は1ヶ月かけて実施され、人口、外国人居住者数、住宅ストック、生活実態等を調査する。

4. アゴスティーニョ・ネト新国際空港の旅客運航開始時期の発表

9月21日、アントニオ・ポンバル／アゴスティーニョ・ネト新国際空港管理責任者は、同空港における国内線及び国際線の運航開始時期について、11月後半と発表。同日に実施された第3回運航訓練には、TAAG及びカタール航空が参加し、チェックイン、入国・関税審査、手荷物検査、衛星システム等の確認が行われた。

5. ルアンダ州内における監視カメラの設置

9月25日、ジョゼ・アゴスティーニョ・パウロ国家警察／通信・情報技術担当官は、ルアンダ州内に1,300台の監視カメラを導入する旨発表。右は、技術イノベーションを基にした、首都ルアンダの治安維持の強化を目的としたもの。

6. 中国国慶節に際するロウレンソ大統領の祝賀メッセージの発表

9月30日、ロウレンソ大統領は10月1日の中国国慶節に合わせて、祝賀メッセージを発表。メッセージにて同大統領は、中国の経済発展、技術の進歩、大国として世界に台頭していることを賞賛するとともに、継続的な二国間関係の強化に向けた決意を再表明した。

外交

1. 中国・アフリカ協力フォーラム(FOCAC)への参加

9月4-5日、テテ・アントニオ外務大臣は、ロウレンソ大統領の代理として中国北京市で開催されたFOCACに急遽出席。5日のハイレベル・ラウンドテーブルでは、同大臣はFOCACにつきアンゴラの経済多角化に資する有益な機会であると強調するとともに、習近平国家主席が発表した「10の方策」につき、近年の複雑化・多面化するグローバルな課題に適切に対処するものとして歓迎の意を示した。

2. 国連総会におけるイスラエルによるパレスチナ領土占領の停止を求める決議の採択

9月17日、国連総会はイスラエルによるパレスチナの領土占領の停止を求める決議を採択。投票結果は、賛成124票、反対14票、棄権43票であり、アンゴラは賛成票を投じた。

3. カガメルワンダ大統領との電話会談の実施

9月19日、ロウレンソ大統領はコンゴ(民)東部情勢につき、ポール・カガメルワンダ大統領と電話会談を実施。同会談を受け、翌20日、ロウレンソ大統領は、フェリクス・チセケディ／コンゴ(民)大統領にメッセージを伝えるため、テテ・アントニオ外務大臣をキンサシャへ派遣した。

4. 第79回国連総会におけるロウレンソ大統領の一般討論演説

9月24日、ロウレンソ大統領は第79回国連総会に出席し、一般討論演説を行った。世界的な問題の解決には、国連総会という交渉の場、総会の決定及び安保理決議の重要性である点、繰り返し強調した。併せて、平和と安全保障分野及び主要な国際金融機関における意思決定プロセスにおいて、アフリカ諸国の発言力の向上の必要性につき訴えた。

5. 令和6年度対アンゴラ草の根・人間の安全保障無償資金協力にかかる署名

9月25日、鈴木徹／在アンゴラ日本国大使及びネルソン・ベリッシモ／マインズ・アドバイザー・グループ(MAG)アンゴラ事務所代表は、令和6年度対アンゴラ草の根・人間の安全保障無償資金協力案件「モシコ州モシコ市4地区地雷除去計画」に署名した。本事業を通じて、地雷の除去による同地域の圃場開発及び安全保障確保が期待される。

6. ツーリズム EXPO ジャパン 2024 への出席

9月26-29日、ロドリゲス・コエリョ在日アンゴラ大使率いる派遣団は、東京で開催されたツーリズム EXPO ジャパン 2024 に参加。

経済

1. FOCAC における覚書の締結

9月5日、リカルド・デ・アブレウ運輸大臣は FOCAC のマージンにて、カビンダ州における鉄道事業(CRBC 社)、ルアンダ州における路面電車の包括的システム開発(CCCC 社)及び運輸省新庁とアントニオ・アゴスティーニョ・ネト新国際空港に繋がるルアンダ鉄道路線の安全性向上に向けたデジタル技術の導入(ファーウェイ)にかかる覚書を締結した。

2. 仏によるアンゴラの衛星事業への融資にかかる大統領令の署名

ロウレンソ大統領は、地球観測衛星 ANGeo-1 事業の資金確保にかかる仏ソシエテ・ジェネラル銀行との契約に署名する権限を財務省に与える

大統領令に署名。同融資においては、仏輸出信用機関である Bpifrance AE が、ソシエテ・ジェネラル銀行による約1億8,998万ユーロの融資をカバーする。

3. 中国による今後のアンゴラ融資にかかる方針

ヴェラ・ダヴェス財務大臣は、中国が今後の対アンゴラ融資について、石油を担保としない融資を増加させていこうとしている旨発表。中国は、太陽光パネル、電気自動車等、中国が西側諸国に対して競争力を有する商品のアンゴラによる購入を可能とするための投資拡大を目指しているとの由。

4. 8月のインフレ率

国家統計局(INE)によると、8月のインフレ率は前月比1.63%、前年同月比40.56%の上昇を記録。

5. アンゴラにおけるビジネス機会にかかるラウンドテーブルの開催

9月24日、ニューヨーク訪問中のロウレンソ大統領は、アンゴラのビジネス機会にかかるラウンドテーブルにて、米企業役員との意見交換を実施。アフリセル(Africell)社、サン・アフリカ(Sun Africa)社等、すでにアンゴラ市場に詳しい米企業とともに、今後参入見込みの企業も参加した。

6. ベンゲラ鉄道延伸にかかる覚書の締結

9月25日、アンゴラ、ザンビア両政府及びアフリカ金融公社は、ロビト・ザンビア間の接続(約780km)を目的としたベンゲラ鉄道の拡張にかかるコンセッション契約に署名した。

(了)